

令和6年度

第1回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

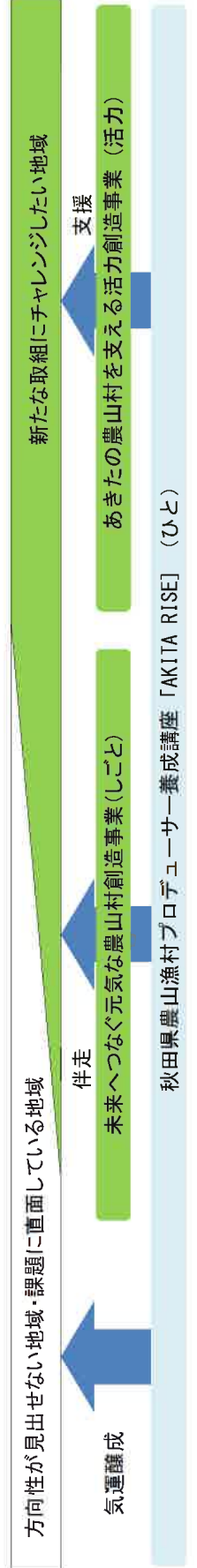
【資料1】

中山間ふるさと・水と土保全対策事業等に関すること

秋田県の農山村振興施策の全体像(基盤・ひと・しごと・活力) 令和6年度

- 農山村の活性化に向けて、新たな取組にチャレンジしたい地域を支援する事業を「基盤」・「ひと」・「しごと」・「活力」の各分野から総合的に展開。
- 「ひと」については、取組の裾野拡大と掘り起こしを進めるため、農山漁村活性化のワクワク感を様々な分野の人材に届ける情報発信活動を強化。
- 「活力」では多様な「半農半X」推進事業を拡充し横展開を加速化させるほか、国の取組方針に対応した農泊推進体制の強化を図る。

【事業の関係性】



■元気な農山村人材・組織育成事業(ひと)

研修事業	実績
AKITARISEの実施 【入門編】 ・裾野拡大、意識醸成 ・行政・関係機関のスキルアップ 【実践編】 ・伴走支援の専門講座 ・サポート人材の養成	[R4] 入門編：3回 延べ302人 実践編：7回 27人・11PJ ARサポーター 17人 [R5] 入門編：2回 延べ150人 実践編：5回 15人・8PJ ARサポーター 8人 R6計画 AKITA RISE 入門編：2回 実践編：5回 AKITA RAISE 推進会議：2回
新規要素 情報発信活動の強化 SNS広告	
推進事業 専門家の派遣 AKITA RAISEの実施	

■未来へつなぐ元気な農山村創造事業(しごと)

元気な農山村創造プラン策定事業	実績
ワークショップ、先進事例調査等の実施 農山村発新ビジネス創出事業 キラリと光る地域特産物 新ビジネスの創出 「地域資源」×「他分野」 創出支援	[R4:プラン策定] ①北秋田大阿仁 がっこステージン ほたるデッキ ③藤里町粕毛 南白神の里 ④にかほ市横岡 ゲストハウス [R5:プラン策定] ①鹿角市花輪 ブルーコーン等 の商品化 ②北秋田市根子 ジビエ×宿泊 R6計画 ・未利用魚の加工 ・地域特産物提供 カフェ等
ほたる見地改修による 新ビジネス創出事業計画 北秋田市 「森のテラス」 にかほ市 「Rokumasu」	

■あきたの農山村を支える活力創造事業(活力)

「半農半X」実証協大事業	活力創造 トライアル事業
半農半X体験の実施 新規要素 地区数の増 セミナーの実施 座談会inアキタコアベース	①地域づくり活動支援 事業 ②里地里山保全活動支援 事業 実績 [R5:半農半X] ①鹿角市 ②由利本荘市 ③にかほ市 ④大仙市 R6計画 [R6:半農半X] ①継続：3地区 ②新規：2地区 ③セミナー10月 ④座談会11月～
地域づくり総合推進事業 ①農村型地域運営組織形成 推進事業(農村RM0) ②あきた農泊推進事業 新規要素 農泊ネットワークの推進 (農泊実施地域を新たに選定)	

■基盤

日本型直接支払

地籍調査事業

基盤整備

遊休農地再生利用事業

①遊休農地再生利用事業
②農適土地利用総合対策事業

あぎたの農山村を支える活力創造事業

多様な「半農半X」の推進

事業実施の背景・目的

- コロナ禍におけるリモートワークの普及や働き方改革による副業可能な企業の増加などにより、農山村地域への二地域居住や移住・就業の関心が高まり、田園回帰の流れが加速
- 中山間地域では、高齢化や人口減少により農業の担い手や地域活性化のための人材が不足
- 新たな兼業スタイル「半農半X」により、地域外から人材を呼び込み、労働力不足の解消や関係人口の創出、移住・就業につなげていく。

これまでの取組（R3～5）

- 副業として農林漁業を希望する都市住民の受入体制の整備や、両立が可能な働き方の調査等のため、新たなライフスタイル「半農半X」の推進に向けた実証事業を実施

※ 企画提案競技方式による応募団体への業務委託

- R3年度：1 地域 八峰町
 R4年度：2 地域 八峰町、にかほ市
 R5年度：4 地域 にかほ市、鹿角市、由利本荘市、大仙市
 ※八峰町はR5から町単事業により実施

- 令和3年度から5年の参加者数は延べ42名（男性23名、女性18名）

- 参加者は、デザイナーやカメラマン等のフリーランスと会社員が半々程度
 ※タレントの卵も参加（大仙市）

- 企業からも参加（6企業）
 (株)NTTアグリテクノロジー
 三菱商事(株)、三菱商事洋上風力(株)等

鹿角市(末広ファーム)
ねぎの播種作業



参加者による新たな動き等

○【八峰町】

- ・デザイナー・カメラマンの参加者が、受入農家及び滞在中に仲良くなった農家から依頼を受けて、しいたけのパッケージをデザイン
- ・映像制作業の参加者が、参加者と受入農林漁業者双方のインタビュー動画を制作



○【にかほ市】

- ・参加者に地域課題のテーマを与え、受入農家や地域プレイヤーと交流・意見交換していく中で、その解決に向けたアイデアを出してもらったWSを実施
 テーマ：「後継者のいない農地を継承していくには」（CCCMKHD(株)）等



○【鹿角市】

- ・参加者と受入農家、業務委託受託者のNPO法人 かつのclassyが、十和田小学校6年生を対象にさまざまな働き方のトークイベントを実施
- ・参加者が鹿角市の地域おこし協力隊に着任



多くの参加者が関係人口となって地域を再訪したり、地域の応援団になっている

＜農村型地域運営組織（農村RMO）の推進＞

～農山漁村の活性化とコミュニティ維持を目指して～

農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）とは、複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。

【農村RMOのイメージ】



農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 農村RMOモデル形成支援

・複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基礎となる「農用地の保全」、「地域資源の活用」、「生活支援」に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき実証事業を実施。

【上限 1,000万円×3年間（国定額）】

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 地域一覧表			
事業期間 (予定)	地域名	活動主体	取組概要
R5 ～ R7	藤里町粕毛	NPOふじさと元気塾 対象集落： 粕毛、真土 協議会 地域おこし協力隊 協議会名： ふじさと粕毛地 域活性化協議会	＜農用地保全＞ ○農用地利用構想策定、乗用式草刈り機導入及び作業体制整備 ○ドローン活用による除草、農薬散布 ＜地域資源活用＞ ○南白神の里ブランドを生かした加工・商品開発 ○農泊施設、農家レストランを拠点とした農林漁業体験メニューの提供、交流の場を創出 ＜生活支援＞ ○冬期間の除排雪作業を行う共助体制の整備
R5 ～ R7	にかほ市横岡	移住者2名(東京出身) 対象集落： 横岡、舟岡 自治会 日本型直弘活動組織 協議会名： 鱈のカロコ協議会	＜農用地保全＞ ○農用地利用構想策定 ○草刈り維持管理体制の確立 ＜地域資源活用＞ ○ゲストハウスを交流拠点とした農林漁業体験ツアーの提供 ○商品開発（そば炊き込みご飯、クロモジ加工） ＜生活支援＞ ○買い物困難者等への支援（マルシェの開催等） ○シェア畑プロジェクト
R6 ～ R8	三種町下岩川	下岩川未来会議 自治会 日本型直弘活動組織 協議会名： 下岩川地域づくり協議会	＜農用地保全＞ ○農用地保全体制の確立（多面的機能支払組織の広域化、農作業の効率化） ＜地域資源活用＞ ○下岩川米のブランド化、こめらむね開発 ○山林の活用、木材工芸加工等の商品開発 ＜生活支援＞ ○ふれあいバス（乗合バス）運行体制整備 ○伝統行事の保存伝承 ○高齢者の生きがいづくり、共助体制の整備

参加費
無料

このステージで
「想い」をカタチに！

AKITA RISE

AKITA RISEに込める思い

農山漁村の活性化に向けて、ワクワク感を持って動き出す。

ここで出会った人たちが、ワンチームとなってお互いのプロジェクトを高め合う。

そんな秋田の未来を創りたいという想いから、本講座を創設しました。

入門編・第1回講座

2024 7月12日(金)

[受付] 13:00 [時間] 13:30~17:30

[会場] 秋田テルサ

[第1回講座 基調講演]

●株式会社 雨風太陽
代表取締役 高橋 博之氏



1974年岩手県花巻市生まれ。青山学院大卒。代議士秘書などを経て、2006年岩手県議会議員に初当選。二期連続のトップ当選を果たす。震災後、岩手県知事選に出馬するも次点で落選、政界を引退。2013年、NPO法人東北開塾を設立。地方の生産者と都市の消費者をつなぐ、世界初の食べもの付き情報誌「東北食べる通信」を創刊。2015年に株式会社雨風太陽を設立、代表取締役に就任した。

入門編・第2回講座

2024 8月9日(金)

[受付] 13:00 [時間] 13:30~17:30

[会場] 秋田テルサ

[第2回講座 基調講演]

●一般社団法人 東の食の会
専務理事 高橋 大就氏



1999年に外務省入省。日米安全保障問題や日米通商問題を担当した後、2008年にMcKinsey & Companyに転職。2011年6月、一般社団法人東の食の会を立ち上げ事務局代表に就任。その後、並行してオイシックス株式会社執行役員(海外担当)に就任。東の食の会では「サヴァ缶」などのヒット商品や多くのヒーロー農家・漁師を生み出すと同時に、オイシックスにて日本の食の輸出事業を展開。2021年4月、全町避難からの復興を進める福島県浪江町に移住。現在、東の食の会にて福島県産のブランドづくりや「なみえ星降る農園」の運営を行うと同時に、NoMAラボにて住民主体のまちづくりに取り組み、更に、人と鳥と自然とが共生する自律分散型コミュニティ「鳥(ノーマ)の谷」を立ち上げた。

お申し込み、詳細は裏面へ ▶▶▶

秋田県農山漁村プロデューサー養成講座詳細

入門編

実践編

内容

地域づくりのワクワク感を醸成しつつ、実践に向けたプロセスも習得。

対象者

- 地域づくりに意欲のある人(学生含む)
- 農山村の地域活動に参画したいと考えている人 など

課題や悩みに寄り添いながら、農山漁村の資源を生かした新たなプロジェクトに伴走支援。

- 取組にチャレンジ中の人
- チャレンジに向けて踏み出したい地域の人 など

カリキュラム

開催	日程	講座テーマ
第1回	2024年 7/12 (金)	●可能性の扉を開け! ~舞台は秋田にある~ ■講師 株式会社雨風太陽 代表取締役 高橋 博之 氏 ■パネリスト ・ 合同会社 Anique 業務執行社員 佐々木 宗純 氏 ・ 佐藤勤六商店 代表 佐藤 玲 氏 [基調講演] 13:40~14:40 [パネルディスカッション] 14:45~15:45 [交流会] 16:00~17:30
第2回	2024年 8/9 (金)	●そのチカラ、秋田の地から~ここでもしか創れない未来~ ■講師 一般社団法人 東の食の会 専務理事 高橋 大就 氏 ■パネリスト ・ シェアビレッジ株式会社 代表取締役 丑田 俊輔 氏 ・ 三吉農園 代表 加藤 マリ 氏 [基調講演] 13:40~14:40 [パネルディスカッション] 14:45~15:45 [交流会] 16:00~17:30

講師、パネリストと参加者のみなさんと、地域づくりのワクワク感を語り合います!

※講座スケジュール等は変更になる可能性があります

開催	日程	講座テーマ	会場
第1回	2024年 10月	●地域を変える事業家の視点を学ぶ 本気でやりたいを考える 地域の価値を提案する	秋田市内 会場
第2回	2024年 11月	●事業プランの目指す姿を描く 地域の魅力×想い描く未来× 地域課題からプランを構築する	秋田市内 会場
第3回	2024年 12月	●事業モデルを組み立てる 顧客との関わり方、 マネタイズポイントを整理する	オンライン
第4回	2025年 1月	●持続可能な収支構造を決める ビジネスモデルの収益性を検討する	オンライン
第5回	2025年 2月	●事業プランの発表 事業プランの構想を発表する	秋田市内 会場

※開催時期は変更になる可能性があります

募集要項

開催会場	● 秋田市(秋田テルサ) ※ 会場の様子をオンライン配信します ● オンライン配信(自宅等での視聴) ※ 本講座では会場でワクワク感を参加者同士で感じていただくことを重視しているため、オンライン配信の希望は県内在住ではない等のやむを得ない理由があり、かつ秋田への愛がある者以外はご遠慮願います。
募集人数	各回100名 ※ 募集人員に達し次第締め切ります。 ※ 募集人員が超過した際は、到着の上、前日までにご連絡いたします。 ※ オンラインはZOOMでの実施を予定しており、前日までにURLをお知らせいたします。
申込方法	特設サイトにてお申し込みください

開催会場	秋田市の1会場
募集人数	20名 (プロジェクトごとに複数名参加可) ※原則、全講座通しての受講になります。 ※募集人数に達し次第締め切ります。 ※申込者が定員を超える場合は抽籤する場合があることをご理解ください。
申込方法	入門編へご参加された方へご案内いたします。



実践編の様子

県内各地域からエントリーがあり、定学やワークなどを通じてプロジェクトの磨き上げを促しています。

申込方法

参加希望の方は
下記の特設サイトからお申し込みください。

公式サイト

AKITA RISE

検索



農山村振興課 公式SNS

公式SNS始めました。
今後の講座の日程もこちらから発信します。

Facebook



X



Instagram



問い合わせ先

講座内容等について/秋田県農林水産部農山村振興課 調整・地域活性化チーム(担当:鈴木) TEL 018-860-1851
申込方法について/㈱JTB 秋田支店(担当:佐々木) TEL 018-862-6193 ✉ info_akita@jtb.com

主催:秋田県 本事業は、秋田県が、株式会社JTB・アグリコネクト企業共同体に委託し、実施しているものです。

秋田県中山間地域土地改良施設等保全基金の概要とその運用について

この基金は、中山間地域において農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、農地の利活用及び保全整備等の促進に対する活動支援や、地域住民活動を推進する人材育成等を図るため造成した基金であり、平成5年～平成12年にかけて10億6千万円を積み立てた。

当課は、この基金の運用益の範囲内で事業を実施してきたが、低金利により、運用益だけで事業費を確保することが困難となり、平成16年度から国指導のもと基金元本を切り崩して事業費に充てている。

＜令和5年度運用益 1,059,726千円（過去最高の運用益(H24) 5,898千円）＞

1. 基金残高等について

(円)

	前年度(R4)残高 A	運用益(R5) B	R5事業費 C	取崩額 D=B-C	R5年度末残高 E=A+D
ふる水基金	505,202,079	628,788	12,528,286	-11,899,498	493,302,581
棚田基金	346,239,353	430,938	1,677,312	-1,246,374	344,992,979
合計	851,441,432	1,059,726	14,205,598	-13,145,872	838,295,560

2. 基金を活用した事業一覧（R5実績）

事業名	R5実績 (うち基金)	事業内容
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち <u>活力創造トライアル事業</u>	10,003,221 (3,989,024) ※1、※2	県内の多様な「半農半X」の推進、地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や地域農産物の6次産業化に向けたトライアル的な取組を支援する。
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち <u>地域づくり総合推進事業</u>	27,602,574 (10,216,574) ※2	農村RMOの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。
計	37,605,795 (14,205,598)	

上記の※1は「ふる水基金」、※2は「棚田基金」を示す。

3. 基金を活用した事業一覧（R6計画）

事業名	R6予算 (うち基金)	事業内容
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち <u>活力創造トライアル事業</u>	15,812,000 (15,012,000) ※1、※2	県内の多様な「半農半X」の推進、地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や地域農産物の6次産業化に向けたトライアル的な取組を支援する。
「あきたの農山村を支える活力創造事業」のうち <u>地域づくり総合推進事業</u>	43,815,000 (11,515,000) ※2	農村RMOの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。
計	59,627,000 (26,527,000)	

上記の※1は「ふる水基金」、※2は「棚田基金」を示す。

○. あきたの農山村を支える活力創造事業の令和5年度実施状況について

<事業目的>

地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や、新しい兼業スタイル「半農半X」の取組、農泊や農村RMO（地域運営組織）の体制づくり等、地域づくりの第一歩を後押しするとともに、農山村を支える地域住民が主体となった取組を支援することにより、農地の維持及び中山間地域の活性化を図り、農山村を支える地域の活力を創出する。

1 活力創造トライアル事業（令和5年度実績 10,003,221円）

県内の多様な「半農半X」の推進、地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や地域農産物の6次産業化等に向けたトライアル的な取組を支援する。

（1）多様な「半農半X」推進事業

農業に関わる選択肢の多様化、関係人口の拡大等、「半農半X」を切り口とした新たな可能性を探る調査を実施する。

<令和5年度実績> 事業費 4,637,000円（うち基金0円）

・「半農半X」体験実証調査を鹿角市、由利本荘市、にかほ市、大仙市で実施。（体験参加者合計24名）



副業として農作業



体験参加者と農家との交流



「半X」のリモートワーク

（2）地域づくり活動支援事業

交流活動や体験教育活動等を通して地域の活性化を図る取組を行う団体を募集し、支援する。
令和5年度までに47団体を支援。

<令和5年度実績> 事業費 1,751,000円（うち基金1,751,000円）

・継続 8団体（100千円／団体）、新規 4団体（300千円／団体）※うち1団体は51千円の執行



福祉事業所×地元小学生の農業体験
（農福連携）



豪雨災害のあった田んぼで
ボランティアによる手刈り体験



耕作放棄地の開墾

(3) 里地里山保全活動支援事業

① 里地里山のサポート活動事業

「守りたい秋田の里地里山50」認定地域において、県内外の企業や大学等の里地里山サポーターと協働で行う保全・交流活動等に対して支援する。

＜令和5年度実績＞ 事業費500,000円（うち基金0円）

里地里山のサポート活動支援事業 実施地域一覧							
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域名	小割沢地域(鹿角市)	大地地域(小坂町)	大里地域(鹿角市)	大里地域(鹿角市)	前山地域(北秋田市)	上羽立地域(北秋田市)	草木谷地域(潟上市)
	阿仁戸島内地域(北秋田市)	阿仁戸島内地域(北秋田市)	黒土地域(五城目町)	黒土地域(五城目町)	檜山地域(能代市)	白岩地域(仙北市)	
	横倉地域(藤里町)	横倉地域(藤里町)	横岡地域(にかほ市)	横岡地域(にかほ市)	綱木沢地域(井川町)	草木谷地域(潟上市)	
	安全寺地域(男鹿市)	安全寺地域(男鹿市)	小沼地域(大仙市)	小沼地域(大仙市)	中村地域(五城目町)		
			三又地域(横手市)	三又地域(横手市)	東由利宿地域(由利本荘市)		
			土沢地域(湯沢市)	前山地域(北秋田市)	椒沢地域(大仙市)		
				檜山地域(能代市)	上羽立地域(北秋田市)		
				綱木沢地域(井川町)	萱ヶ沢地域(秋田市)		
				中村地域(五城目町)			
				東由利宿地域(由利本荘市)			
				椒沢地域(大仙市)			
				白岩地域(仙北市)			
計	4地域(新規4地域)	4地域(新規1地域)	6地域(新規6地域)	12地域(新規7地域)	8地域(新規2地域)	3地域(新規1地域)	1地域(新規なし)
累計	4地域	5地域	11地域	18地域	20地域	21地域	21地域
目標数	4地域	8地域	12地域	14地域	16地域	22地域	24地域

○潟上市「草木谷地域」(令和5年度)

集落の農家が中心となり、首都圏で地域の関連商品の販売や缶バッジ制作体験を行ったほか、ブラウブリッツ秋田との連携イベントで地域の活動紹介や、田植え稲刈り体験等の活動を実施した。



地域の関連商品の販売



田植え体験

② 里地里山の営農継承事業（一般財源）

認定地域において、耕作放棄地を防止し、里地里山の保全・継承を支援するため、新たな農地の借受者に対し、仮受のインセンティブとなるよう、賃借料相当の助成金を交付する。

- ・助成対象 農地中間管理機構等から新たに農地を借り受ける農業者
- ・補助率 実賃料額（1年目：10千円/10aを上限、2～3年目：1年目交付単価の半額）

＜令和5年度実績＞ なし

③ 里地里山のプロモーション活動、情報発信等

- ・秋田県種苗交換会、ブラウブリッツ秋田ホーム会場において、ポスター掲示やパンフレット配布、物産販売等を実施
- ・認定地域の魅力等のPR（情報発信推進員による取材内容を県ホームページ等で情報発信）

- ・「第24回あきたの美しく豊かな農村づくり写真コンクール」を開催（秋田県土地改良事業団体連合会と連携実施）

＜令和5年度実績＞ 事業費2,427,312円（うち基金1,677,312円）



ブラウブリッツ秋田ホーム会場プロモーション活動
（秋田市八橋運動公園内）



写真コンクール入賞作品
（仙北市「上田沢地域」）

（4）トライアル推進事業

（1）～（3）の推進費（旅費、需要費等）

＜令和5年度実績＞ 事業費687,909円（うち基金560,712円）

2 地域づくり総合推進事業（令和5年度実績 27,602,574円）

農村RMOの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。

（1）農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業（国費）

＜令和5年度実績＞ 事業費11,400,000円（うち基金0円）

- ・地域資源の活用、農用地の保全、生活支援に取り組む農村RMOの設立を支援（2地域）

（2）あきた農泊推進事業

農泊ビジネス実践研修や農山漁村地域の魅力を広く訴求する情報発信等を実施。

＜令和5年度実績＞ 事業費 11,985,629円（うち基金7,551,629円）

- ・農泊ビジネス起業研修の実施（5名）
- ・情報発信に関する農泊事業者向けワークショップの開催（20名）
- ・農泊地域協議会等が連携し、サイクリングを核とした体験コンテンツの作成
- ・若手農泊事業者を対象にした地域づくりのワークショップの開催（18名）

（3）魅力ある里づくりモデル事業

中山間地ならではの地域資源を生かした「魅力ある里づくり」のモデル地域を育成するため、計画策定から拠点整備、実践活動までを総合的に支援する。

＜令和5年度実績＞ 事業費 1,000,000円（うち基金1,000,000円）

- ・加工品開発のワークショップ等の実施（1地域）

（4）地域づくり推進事業

- ・農福連携セミナー等の実施
- ・中山間営農型太陽光発電モデルの実証

＜令和5年度実績＞ 事業費 3,216,945円（うち基金1,664,945円）

- ・上記（1）～（3）の推進費（旅費、需要費等）

●. あきたの農山村を支える活力創造事業の令和6年度実施内容について

<事業目的>

地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や、新しい兼業スタイル「半農半X」の取組、農泊や農村RMO（地域運営組織）の体制づくり等、地域づくりの第一歩を後押しするとともに、農山村を支える地域住民が主体となった取組を支援することにより、農地の維持及び中山間地域の活性化を図り、農山村を支える地域の活力を創出する。

1 活力創造トライアル事業

県内における「半農半X」の推進、地域の食や伝統文化、里地里山などの地域資源を生かした交流活動や地域農産物の6次産業化に向けたトライアル的な取組を支援する。

(1) 「半農半X」実証拡大事業

多様な「半農半X」を推進し、取組の全県展開を図る。

<令和6年度の計画> 事業費 8,403,000円

- ・「半農半X」体験実証調査を5地域で実施（継続3地域、新規2地域）

(2) 地域づくり活動支援事業

交流活動や体験教育活動等を通して地域の活性化を図る取組を行う団体を募集し、支援する。

<令和6年度の計画> 事業費 2,294,000円

- ・令和5年度採択の4団体について2年目の支援を行うほか、新たに取組を行う団体を募集し、5団体を新たに支援する。

(3) 里地里山保全活動支援事業

<令和6年度の計画> 事業費 5,115,000円

① 里地里山のサポート活動事業

「守りたい秋田の里地里山50」認定地域において、県内外の企業や大学等の里地里山サポーターと協働で行う保全・交流活動等に対して支援する。

- ・4地域で実施予定（上限500千円／地域）

② 里地里山の営農継承事業（一般財源）

認定地域において、耕作放棄地を防止し、里地里山の保全・継承を支援するため、新たな農地の借受者に対し、仮受のインセンティブとなるよう、賃借料相当の助成金を交付する。

ア 助成対象 農地中間管理機構等から新たに農地を借り受ける農業者

イ 補助率 実賃料額（1年目：10千円/10aを上限、2～3年目：1年目交付単価の半額）

③ 里地里山のプロモーション活動、情報発信等

県が取り組んでいる「守りたい秋田の里地里山50」地域の募集や認定された地域をはじめとする里地里山の保全・継承に向け、その役割や魅力を広くPRするプロモーション活動やパンフレット作成等を実施する。

- ・プロモーション活動（種苗交換会、各種イベント等）
- ・フォトコンテスト（あきたの美しく豊かな農村づくり写真コンクール）
- ・認定地域の魅力等のPR（情報発信推進員による取材内容の発信等）

2 地域づくり総合推進事業

農村RMOの設立や農泊ビジネスの推進など地域活性化の取組を総合的に支援する。

(1) 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業（国費）

＜令和6年度の計画＞ 事業費 30,291,000 千円

- ・地域資源の活用、農用地の保全、生活支援に取り組む農村RMOの設立を支援（3地域）

(2) あきた農泊推進事業

＜令和6年度の計画＞ 事業費 11,299,000 千円

- ・県内の農泊地域が広域連携し、PR等の誘客活動を実施。
- ・農家民宿・農家レストランの移住起業家・事業承継者向けの実践研修の実施。
- ・県内の農泊地域の魅力発信。

(3) 地域づくり推進事業

＜令和6年度の計画＞ 事業費 2,225,000円

- ・農福連携研修会の実施
- ・中山間営農型太陽光発電モデルの実証
- ・上記（1）～（2）の推進費（旅費、需要費等） など